

津波避難計画の改訂

事業概要

東日本大震災の発生を踏まえた八戸市津波避難計画(市民の迅速かつ円滑な避難に必要な避難対象地域、避難場所及び避難路の指定、避難指示の発令等について定めた計画)の改訂 **H27年2月改定**

【改訂の柱】

2つのレベルの津波を想定し、それぞれに応じた対策を新たに規定

○L1津波の対策

⇒ 発生頻度が高く大きな被害をもたらす津波

人命保護に加え、住民財産の保護、地域経済活動の安定化、効率的な生産拠点の確保の観点から海岸保全施設等を整備

○L2津波の対策

⇒ 発生頻度は極めて低いが大規模な被害をもたらす**最大クラスの津波**

住民等の生命を守ることを最優先とし、住民の避難を軸にとりうる手段を尽くした総合的な津波対策を確立

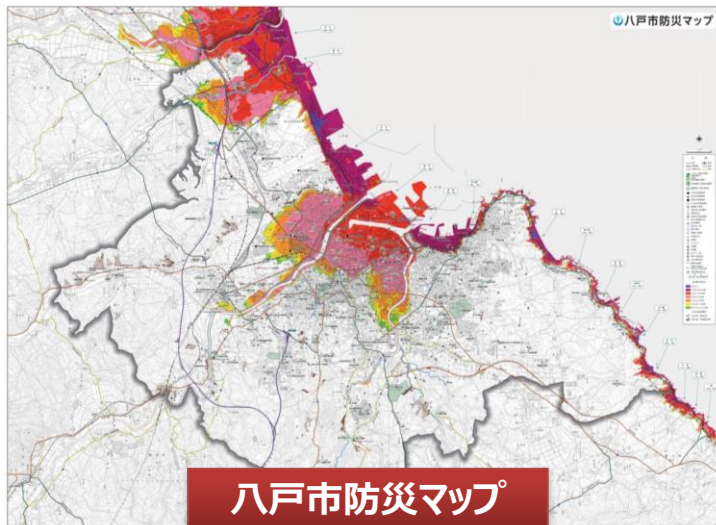


津波ハザードマップ等の作成・配布

事業概要

最大クラスの津波浸水想定を基にした防災マップ、津波避難ハンドブック等の作成・配布

| 種類 | 内容 | 配布先(部数) | |
|-------------------------|-----------------------------|--------------------|-----------|
| 八戸市防災マップ (H25.3配布) | 浸水想定区域、土砂災害警戒区域、避難所の位置など | 市内小中学校等 | 1,025 部 |
| 津波避難ハンドブック (H25.3配布) | 浸水想定区域、津波に対する心得、災害情報の入手方法など | 市内全戸・全事業所 | 107,464 部 |
| 津波避難計画図 (H27.3配布) | 浸水想定区域、避難経路、一時避難場所など | 大津波警報発表時の避難対象地域内全戸 | |



津波避難誘導標識等の設置

事業概要

津波災害発生時の地域住民及び来訪者の迅速かつ適切な避難行動に資する各種標識の設置

➤ 標識の種類

① 誘導標識



214箇所

浸水想定区域内の避難路上に、避難目標地点までの距離や方向等を表示

② 避難目標地点標識



77箇所

浸水想定区域の外にある避難目標地点に、避難所までの距離や方向等を表示

③ 避難場所経路案内板、ソーラー照明灯

避難場所経路案内板



26箇所

浸水想定区域の外にある避難路の合流地点などに、避難所までの経路がわかる地図標識を設置（あわせてソーラー照明灯を設置）

ソーラー照明灯

